

様式1 被害実態調査票（個票）

被害実態調査票（個票）												調査月日	令和年月日				
												調査員氏名					
町会名																	
世帯主氏名			住所				年齢	職業		事業主の場合							
(電話)			弘前市大字 字 番地							事業内容			従業員数				
													人				
被害状況					家族の氏名		続柄	年齢	職業又は学校名		世帯内訳	被保護世帯	身障世帯	老人世帯	寡婦(夫)世帯	要保護世帯	その他世帯
人 的 被 害	死者	行方不明	重傷	軽傷													
	人	人	人	人													
住 家 被 害	種類	住家		非住家								※ 課 稅 狀 況	非課稅・課稅(均等稅・所得稅)				
	被害の 区 分 ○ 印 を つ け る 。	1 全壊(焼)	1 全壊(焼)														
		2 半壊(焼)	2 半壊(焼)														
		3 流失	3 流失														
		4 一部破損	4 一部破損														
		5 床上浸水 1~49cm	5 床上浸水 1~49cm														
		50~99cm	50~99cm														
		100cm 以上	100cm 以上														
6 床下浸水	6 床下浸水																
棟数	棟		棟								家族構成	男	女	計	小学生	中学生	高齢者
所有	自家・借家・間借																
人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	
備考																	

※印は記入する必要ありません。

樣式 2 被害者名簿

被　　害　　者　　名　　簿

年 月 日 時 分 担当者

(注) 全部→全焼、全壊、流失
所有→自家、借家、間借

一部→半焼、半壊、一部破損

その他→人的被害、家畜の被害、その他

様式3 被害状況即報・確定報告

市町村	弘前市		区 分		被 害	
災害名	災害名		田	流失・埋没	ha	
報告番号	第 報 (月 日 時現在)			冠 水	ha	
報告者名				畠	流失・埋没	
人 的 被 害	死 者	人	文 教 施 設	箇 所		
	行方不明者	人	病 院	箇 所		
	負傷者	重 傷	人	道 路	箇 所	
		軽 傷	人	橋 り よ う	箇 所	
			河 川	箇 所		
住 家 被 害	全 壊		港 湾	箇 所		
			砂 防	箇 所		
			清 掃 施 設	箇 所		
			崖 く ず れ	箇 所		
	半 壊		鉄 道 不 通	箇 所		
			被 害 船 舶	隻		
			水 道	戸		
	一 部 破 損		電 話	回 線		
			電 気	戸		
			ガ ス	戸		
	床 上 浸 水		ブ ロ ッ ク 塀 等	箇 所		
	床 下 浸 水		罹 災 世 帯 数	世 帯		
		罹 災 者 数	人			
非 住 家	公 共 建 物	人	火 災 発 生	建 物	件	
	そ の 他	棟		危 険 物	件	
				そ の 他	件	

区 分	被 害	市町村	名 称		
公立文教施設	千円	災害対策本部	設 置	月 日 時	
農林水産業施設	千円		解 散	月 日 時	
公共土木施設	千円				
その他の公共施設	千円				
小 計	千円				
農 産 被 害	千円	その 他	災害救助法の 適用の有無	有	無
林 産 被 害	千円				
畜 産 被 害	千円				
水 産 被 害	千円				
商 工 被 害	千円				
	千円				
そ の 他	千円				
被 害 総 額	千円	消防職員出動延人員		人	
		消防団員出動延人員		人	
備 考	災害発生場所				
	災害発生年月日				
	災害の種類概況				
	応急対策の状況				
	・消防、水防、救急・救助等消防機関の活動状況				
	・避難勧告等				
	・避難所の設置状況				
	・他の地方公共団体への応援要請、応援活動の状況				
	・自衛隊の派遣要請、出動状況				
	・ボランティアセンターの設置状況（設置の有無及び設置場所等）				
・ボランティアの活動状況（受入の有無、派遣の有無等）					
・その他関連事項					

※即報の場合には、被害額は省略することができるものとする。

様式4 被害状況調（人・住家の被害）

災害発生
災害対策本部設

年 月 日
年 月 日

様式5 救助の実施状況

樣式 6 医療施設被害

年 月 日 時現在

様式7 廃棄物処理施設・生活衛生施設・水道施設被害

年 月 日 時現在

区分 施設名	被 壊 内 容	被 壊 金 額 (千円)
375		
計		

(注) 被害内容には上水道、簡易水道、井戸、汚物処理施設ごとに、かつその被害程度を記入する。

樣式8 水稻被害 (水害)

年 月 日 時現在

(注) 1 第1報(災害発生後直ちに報告)は①のみ報告する。第2報以降は、把握でき次第△印を含めて報告する。確定報告はすべての欄に記入し報告する。

2 冠水期間については、明確になった面積については期間区分とし、その時点の冠水中の面積は「冠水中」として報告する。浸水については、水が引いた後も差し引かず、「浸水被害面積」として報告する。

3 被害面積等の上段()には、被害率を記入する。

4 被害様相は次の区分による。

① 埋没・決壊・・・土砂が畦畔の高さを超えて堆積したもの及び耕土が流失したもの

② 土砂流入・・・土砂の堆積が畦畔の高さまで達しないもの

③ 冠 水・・・稲が全部水中に没したもの

④ 浸 水・・・水が畦畔の高さを越えて、かつ冠水には至らないもの

様式9 水稲被害（潮風害、霜害、風害、冷害等）

年 月 日 時現在

地区名	作付面積	被害面積		被 味 害 減収量	単 価	被害額	被害程度別面積内訳				減 収 量				被 害 農 家 戸 数	うち30%以上の被害農家戸
		計	うち 被害率 30%以上				30% 未満	30~ 49%	50~ 69%	70% 以上	30% 未満	30~ 49%	50~ 69%	70% 以上		
◎	△	◎	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
377																

(注) 第1報(災害発生後直ちに報告)は◎印のみ報告する。第2報以降は、把握でき次第△印を含めて報告する。確定報告はすべての欄に記入し報告する。

様式 10 りんご、特産果樹被害（風害）

年 月 日 時現在

地区名	樹種名	栽培面積	災害の種類	種目	被害程度別面積					被 害 量					被害金額	備 考
					計 ha・本 ◎	30%未満 ha・本 △	30~49% ha・本 △	50~69% ha・本 △	70%以上 ha・本 △	計 t △	落 果 減 収 t △	樹 上 品 質 低 下 t △	損 傷 t △			
◎	◎	△	◎	◎	ha・本 ◎	ha・本 △	ha・本 △	ha・本 △	ha・本 △	計 t △	落 果 減 収 t △	樹 上 品 質 低 下 t △	損 傷 t △	千円 △		
			風害	果実被害 樹体損傷 わい性台 普通台												りんごの樹体損傷は、わい性台と普通台に区分する。
合計																
被害戸数					戸											

(注) 第1報（災害発生後直ちに報告）は◎印のみ報告する。第2報以降は、把握でき次第△印を含めて報告する。確定報告はすべての欄に記入し報告する。

様式 11 りんご、特産果樹被害（風害以外）

年 月 日 時現在

地区名	樹種名	栽培面積	災害の種類	種目	被害程度別面積					被 告 量		被害金額	備 考
					計 ha・本 ◎	30% 未満 △	30~ 49% △	50~ 69% △	70% 以上 △	減 収 t △	品 質 低 下 t △		
◎	◎	△	◎	◎	ha・本 ◎	ha・本 △	ha・本 △	ha・本 △	ha・本 △	t △	t △	千円 △	
			水害 凍霜害 雪害 雹害	園地浸水 樹冠浸水 花そう被害 果実被害 樹体損傷 わい性台 普通台									園地浸水は状況報告時のみ 使用する。 りんごの樹体損傷は、わい 性台と普通台に区分する。
合計													
被害 戸数					戸								

(注) 第1報(災害発生後直ちに報告)は◎のみ報告する。第2報以降は、把握でき次第△印を含めて報告する。確定報告はすべての欄に記入し報告する。

様式 12 畑作、野菜、花き、桑樹被害

年 月 日 時現在

地区名	品目名	作 型	被害程度別面積 (ha)					被 害 減 収 量 (t)					単 価 (円)	被 害 額 (千円)	備 考
			計	30% 未満	30~ 49%	50~ 69%	70% 以上	計	30% 未満	30~ 49%	50~ 69%	70% 以上			
◎	◎	△	◎	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	
合 計															

380

(注) 1 作型の欄には、災害暦等を参考のうえ、春まき栽培、夏まき栽培及び露地、マルチ等の区分を記入する。

2 備考欄には、被害の態様及び別に定めるもの以外については、被害減収量算定根拠を記入する。

3 第1報(災害発生後直ちに報告)は◎のみ報告する。第2報以降は、把握でき次第△印を含めて報告する。確定報告はすべての欄に記入し報告する。

様式 13 畜産関係被害（家畜・畜産物等）

年 月 日 時現在

区分 地区名 ◎										備考
	被害数量 (頭羽数等) ◎	単価 (円) △	被害額 (千円) △	被害数量 (頭羽数等) ◎	単価 (円) △	被害額 (千円) △	被害数量 (頭羽数等) ◎	単価 (円) △	被害額 (千円) △	
	()			()			()			
合計										

- (注) 1 区分欄には乳用牛、肉用牛、豚、採卵鶏、ブロイラー、馬、めん羊、配合飼料、牧乾草、購入粗飼料、牛乳、卵等を記入
 2 被害数量欄の()内には箇所数を記入し、備考欄には被害態様等を記入
 3 第1報（災害発生後直ちに報告）は◎のみ記入する。第2報以降は、把握でき次第△印を含めて報告する。確定報告はすべての欄に記入し報告する。

様式 14 畜産関係被害（牧草・飼料作物等）

牧草・飼料作物等

年 月 日 時現在

地区名 ◎	作物名 ◎	被害の 態 樣 内 訳	被害程度別面積(ha)					被害減収量(t)					単 価 (円) △	被害額 (千円) △	備 考
			計 ◎	30% 未満 △	30~ 49% △	50~ 69% △	70% 以上 △	計 △	30% 未満 △	30~ 49% △	50~ 69% △	70% 以上 △			
		内 訳													
		合 計													

- (注) 1 被害の態様の欄には、枯死、牧草腐敗、埋没、決壊、倒伏、冠水、流失等の被害の態様を記入し、この態様別に被害面積、被害減収量を記入する。
 2 備考欄に箇所等を記入する。
 3 牧草については、生育時期により生産量が異なるため、年間生産量に対する生育時期別割合は、次の数値を参考とされたい。
 牧草の年間収量に占める生育時期別割合 1番草 50% 2番草 30% 3番草 20%
 4 第1報(災害発生後直ちに報告)は◎のみ報告する。第2報以降は、把握でき次第△印を含めて報告する。確定報告はすべての欄に記入し報告する。

様式 15 農業関係共同利用施設被害（農業協同組合及び同連合会所有のもの）

年 月 日 時現在
(金額単位:千円)

種類名	被害施設名	全 壊			大 破			中 破			小 破			計			備 考
		件数	面積	被害額	件数	面積	被害額										
◎	()																
	()																
	計	◎		◎			◎			◎			◎				
◎	()																
	()																
	計	◎		◎			◎			◎			◎				
	合 計	◎		◎			◎			◎			◎				

(注) 1 種類名には「耕種関係」「畜産関係」「園芸関係」「その他」「自然牧野」の別を記入する。

※「耕種関係」には稻、麦類、雑穀、いも類、豆類等の保管、農耕等に供する関係施設をいう。

「園芸関係」には、工芸作物（たばこ等）関係施設を含む。

「その他」には、「自然牧野」以外のもので他の分類に属さないもの（有線放送、発配電施設等）を記入する。

用途が複数の施設については、その主たる用途により分類したうえで記入する。

2 被害施設名欄の下段（）内には所有者名を記入する。ただし、パイプハウス等件数の多いものは、不要とする。

3 建物及びパイプハウス等の被害件数は被害を受けた棟数とする。

4 「全壊」「大破」「中破」「小破」の区分については、「農林水産業災害等関係業務の手引き(青森県農林水産部算定)」の「3 被害の算定」を参照

5 第1報（災害発生後直ちに報告）は◎のみ報告する。第2報以降は、把握でき次第報告する。

確定報告はすべての欄に記入し報告する。

様式 16 農業関係共同利用施設被害（その他の所有のもの）

年 月 日 時現在
(金額単位:千円)

種類名	被害施設名	全 壊			大 破			中 破			小 破			計			備 考
		件数	面積	被害額	件数	面積	被害額										
◎	()																
	()																
	計	◎			◎			◎			◎			◎			
◎	()																
	()																
	計	◎			◎			◎			◎			◎			
	合 計	◎			◎			◎			◎			◎			

384

(注) 1 種類名には「耕種関係」「畜産関係」「園芸関係」「その他」「自然牧野」の別を記入する。

※「耕種関係」には稻、麦類、雑穀、いも類、豆類等の保管、農耕等に供する関係施設をいう。

「園芸関係」には、工芸作物（たばこ等）関係施設を含む。

「その他」には、「自然牧野」以外のもので他の分類に属さないもの（有線放送、発配電施設等）を記入する。

用途が複数の施設については、その主たる用途により分類したうえで記入する。

2 被害施設名欄の下段（）内には所有者名を記入する。ただし、パイプハウス等件数の多いものは不要とする。

3 建物及びパイプハウス等の被事件数は被害を受けた棟数とする。

4 「全壊」「大破」「中破」「小破」の区分については、「農林水産業災害等関係業務の手引き(青森県農林水産部算定)」の「3 被害の算定」を参照

5 第1報（災害発生後直ちに報告）は◎のみ報告する。第2報以降は、把握でき次第報告する。

確定報告はすべての欄に記入し報告する。

様式 17 農業関係非共同利用施設被害及び地方公共団体施設被害

年 月 日 時現在
(金額単位:千円)

種類名	被害施設名	全 壊			大 破			中 破			小 破			計			備 考
		件数	面積	被害額	件数	面積	被害額										
◎	()																
	()																
	計	◎			◎			◎			◎			◎			
◎	()																
	()																
	計	◎			◎			◎			◎			◎			
	合 計	◎			◎			◎			◎			◎			

385

(注) 1 種類名には「耕種関係」「畜産関係」「園芸関係」「その他」「自然牧野」の別を記入する。

※「耕種関係」には稻、麦類、雑穀、いも類、豆類等の保管、農耕等に供する関係施設をいう。

「園芸関係」には、工芸作物(たばこ等)関係施設を含む。

「その他」には、「自然牧野」以外のもので他の分類に属さないもの(有線放送、発配電施設等)を記入する。

用途が複数の施設については、その主たる用途により分類したうえで記入する。

2 被害施設名欄の下段()内には所有者名を記入する。ただし、パイプハウス等件数の多いものは不要とする。

3 建物及びパイプハウス等の被害件数は被害を受けた棟数とする。

4 「全壊」「大破」「中破」「小破」の区分については、「農林水産業災害等関係業務の手引き(青森県農林水産部算定)」の「3 被害の算定」を参照

5 第1報(災害発生後直ちに報告)は◎のみ報告する。第2報以降は、把握でき次第報告する。

確定報告はすべての欄に記入し報告する。

様式 18 農業協同組合及び全国農業協同組合連合会青森県本部の在庫品被害

年 月 日 時現在

△	種類	数量	単位	単価	被害額	備考
生産資材	()					
	()					
	()					
	計	◎				
その他	()					
	()					
	()					
	計	◎				
合計						

(注) 1 在庫品とは、農業協同組合及び全国農業協同組合連合会青森県本部の所有または管理するものをいう。

2 「種類」欄の()内には農協等名を記入する。

3 備考欄には被害の態様等を記入する。

4 第1報(災害発生後直ちに報告)は◎印のみ報告する。第2報以降は、把握でき次第報告する。確定報告はすべての欄に記入し報告する。

様式 19 農地及び農業用施設の被害

(第 報)

令和 年 月 日 時 現在

「 による災害」

(単位: 千円、ha)

様式 20-1 林業関係被害（その1）[速報・概況・確定報告]

災害名：

令和 年 月 日 現在

(単位：千円)

区分	林業施設等						林産物等								計		
	林業施設等		苗畑施設		小計		林産物		種苗		林産物間接被害		小計				
地域農林水産部・農林水産事務所	市町村名 地区名	数量	被害額	数量	被害額	数量	被害額	数量	被害額	数量	被害額	数量	被害額	数量	被害額	数量	被害額
合計																	

888

- (注) 1 「数量」欄には、被害の箇所数、面積等を記入する。
- 2 「林業施設」被害とは、木材倉庫・貯木場・木材加工施設・木炭加工施設、わさび・しいたけ等育成・加工等施設等の全壊、半壊等をいう。
- 3 「苗畑施設」被害とは、畑地流失、畑地埋没、灌水施設破損、堆肥舎倒壊等をいう。
- 4 「林産物」被害とは、立木・素材・製材等の木材被害、薪炭原木・木炭等の薪炭被害、しいたけ・わさび等の特用林産物被害と利用伐期令級未満の造林地被害の合計をいう。
- 5 「苗畑」被害欄には、樹種・面積・本数（千本、年生）を記入する。
- 6 「林産物間接被害」とは、道路の決壊、橋梁の破損、その他により運搬が不能となって滞貨した林産物(木材・薪炭・特用林産物)をいう。

様式 20-2 林業関係被害（その2）[速報・概況・確定報告]

災害名：

令和 年 月 日 現在

(単位：千円)

区分	林 地				施 設 等								林 野 火 災			備 考
	崩 壊 地		地 す べ り		海 岸		治 山		地 す べ り		小 計		林 道			
市町村名 地区名	数量	被害金額	数量	被害金額	数量	被害金額	数量	被害金額	数量	被害金額	数量	被害金額	件数	面積	被害金額	
683																
合 計		箇所 ha	箇所 ha	箇所 (M) ha		箇所 (M) ha		箇所 (M) ha		箇所 (M) ha		路線 箇所 (M)		件	ha	

様式 21 水産業関係被害

年 月 日 時現在
(単位:千円)

063

様式 22 商工業・観光施設被害

年 月 日 時現在
(単位:千円)

名 称	区 分	被 害 内 容	被 害 金 額
391			
計			

(注) 被害内容には、鉱山、商店、事業所ごとにつきその被害程度を記入すること。

様式 23 土木施設被害(国・県・市別)

年 月 日 時現在
(単位:千円)

区分	被害箇所数	被害金額	主たる被害個所及び内容
河川			
砂防設備			
地すべり防止施設			
急傾斜地崩壊防止施設			
道路			
橋梁			
下水道			
合計			

(注) 主たる被害個所および内容欄には被害箇所、河川名、路線名等区間及び延長等を概略記載すること。

樣式 24 文教關係被害

年 月 日 時現在
(単位:千円)

様式 25 福祉施設被害

年 月 日 時現在

福祉施設種別	被災施設名	設置主体	建物延面積	被災延面積	被災の程度の内容	被災金額（千円）
394						
計						

様式 26 その他の公共施設被害

年 月 日 時現在

施設名	区分	被 害 内 容	被 害 額 (千円)
計			

様式 27 自衛隊災害派遣要請

弘防発第 号

年 月 日

青森県知事 様

弘前市長

災害派遣に関する申し出について

標記の件に関し、下記により部隊の派遣方を申し出ます。

1 災害の種類		洪水・津波・地震・火災・その他			
2 要請の目的		人命救助・災害復旧・消火・その他			
3 派遣を希望する区域		地区			
4 派遣を必要とする期間		年	月	日から	
		年	月	日まで	日間
5 被害状況					
6 派遣を希望する人員及び機器の概数 (車両、船舶、航空機等)					
7 派遣先の責任者					
8 その 他	(1) 宿泊	要請者で準備 自衛隊で準備			
	(2) 食糧	要請者で準備 自衛隊で準備			
	(3) 資材	要請者で準備 自衛隊で準備			

様式 28 自衛隊災害派遣撤収要請

弘防発第
年 月
号

青森県知事

様

弘前市長

災害派遣に関する申し出について

標記の件に関し、所期の目的を達成しましたので、下記により部隊の撤収方を申し出ます。

記

派遣部隊の撤収日時 年 月 日 午 時 分

以上

様式 30 人的被害・住家被害

人的被害・住家被害

(第 報)

報告の时限	日 時 分現在	受 信 時 刻	時 分		
発 信 機 関		受 信 機 関			
発 信 者 名		受 信 者 名			
内 容					
発 生	日 時				
	場 所				
	原 因				
人 的 被 害 の 状 況	被害程度	1. 死 亡	2. 行方不明	3. 重 傷	4. 軽 傷
	氏 名 等	(氏名)	(生年月日)	(性別)	
	住 所				
	収 容 先				
その他参考事項 (応急処置、情報源、確認、未確認の別、世帯主及び続柄等)					
住 家 被 害 の 状 況	全 壊	半 壊	一部破壊	床上浸水	床下浸水
	棟	棟	棟	棟	棟
	世帯	世帯	世帯	世帯	世帯
	人	人	人	人	人
	応急対策の状況				

様式 31 避難状況・救護所開設状況

避難状況・救護所の開設状況

(第 報)

報告の時限	日 時 分現在	受信時刻	時 分				
発信機関		受信機関					
発信者名		受信者名					
内 容							
避 難 状 況	避難先	地区名	避難勧告等 の種別及び日時	世帯数	人 数	屋内 屋外 の別	今後の見通し
			(勧告、指示、自主) 日 時 分	世帯	人	屋内 屋外	
			(勧告、指示、自主) 日 時 分	世帯	人	屋内 屋外	
			(勧告、指示、自主) 日 時 分	世帯	人	屋内 屋外	
			(勧告、指示、自主) 日 時 分	世帯	人	屋内 屋外	
			(勧告、指示、自主) 日 時 分	世帯	人	屋内 屋外	
救 護 所 開 設 状 況	救護所名		設置場所	収容人数		実施機関	
	重 傷	軽 傷					

様式 32 公共施設被害

公共施設被害

(第 報)

報告の時限	日 時 分現在	受信時刻	時 分
発信機関		受信機関	
発信者名		受信者名	
内 容			
被 告 区 分	ア. 河川 イ. 海岸 ウ. 貯水池・ため池等 エ. 砂防 オ. 港湾・漁港 カ. 道路 キ. 鉄道 ク. 電信・電話 ケ. 電力 コ. ガス サ. 水道 シ. その他 ()		
発 生	日 時	日 時 分	
	場 所		
	原 因		
状 況	被害区域 区 間		
	管 理 者	(電話)	
	被害程度 (概 要)		
	応急対策 の 状 況		
	復旧見込		
	その他 参考事項		